

平成10年度予算と施策

21世紀をめざし

「市民が誇れるまちづくり」



編成方針

本市の財政状況は、近年一般財源の伸びの鈍化と市債残高の累増に伴う公債費負担の増加等により、財政構造は一段と硬直化の度合いを強めてきており、財政をとりまく環境は極めて厳しい状況となっています。

平成10年度の予算編成は、こうした財政状況や、国、地方を通ずる財政構造改革へのとりくみを踏まえ、限られた財源の重点かつ効率的な配分に徹するため、一般行政経費については極力節減に努め、施策の重点化を図りながら、長門地域文化体育施設として県立文化ホールと一体的に整備する多目的アリーナの建設をはじめ、総合公園、生活道路、産業基盤の整備及び下水道、集落排水事業について引き続き推進を図ることとし、また、高齢者等への福祉施策にも配慮して編成を行いました。